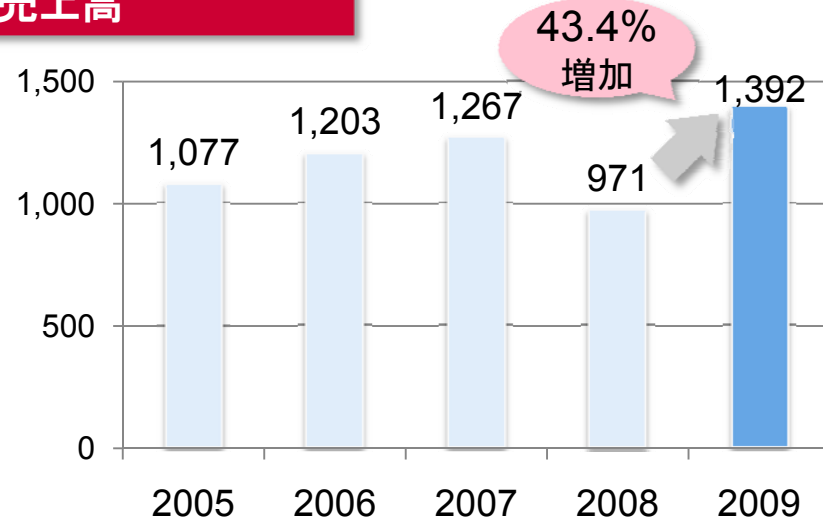


株式会社ネクストジェン
2009年12月期 決算説明会

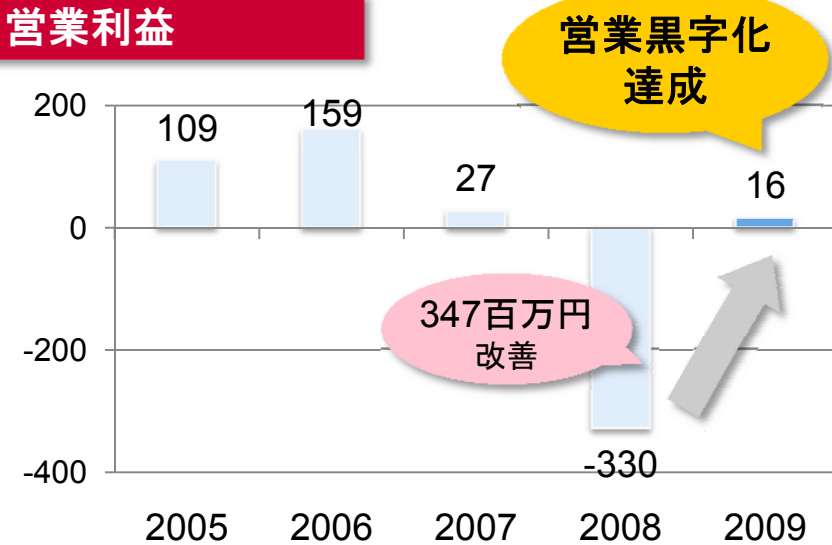
2010年2月15日
代表取締役社長
大西 新二

業績ハイライト

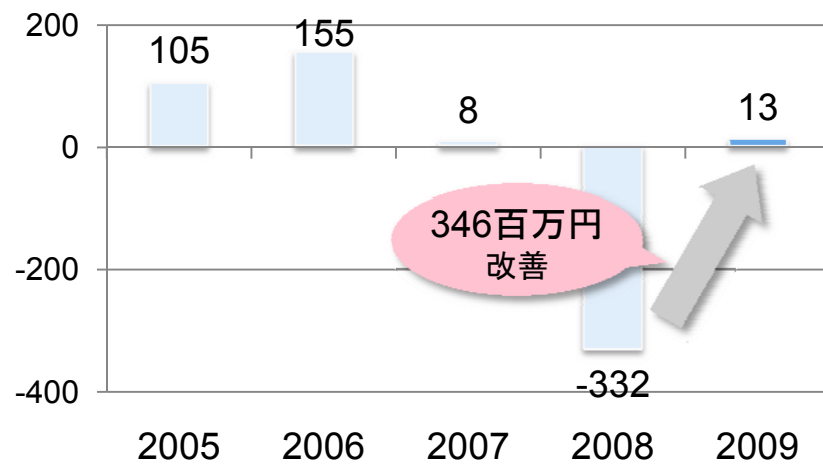
売上高



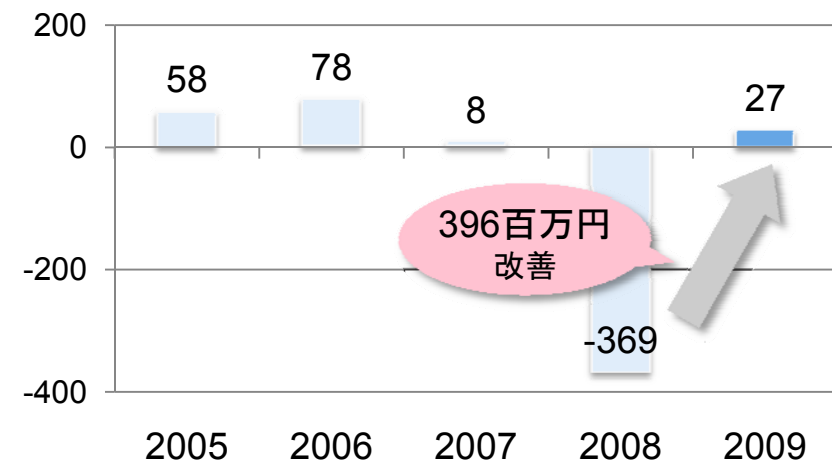
営業利益



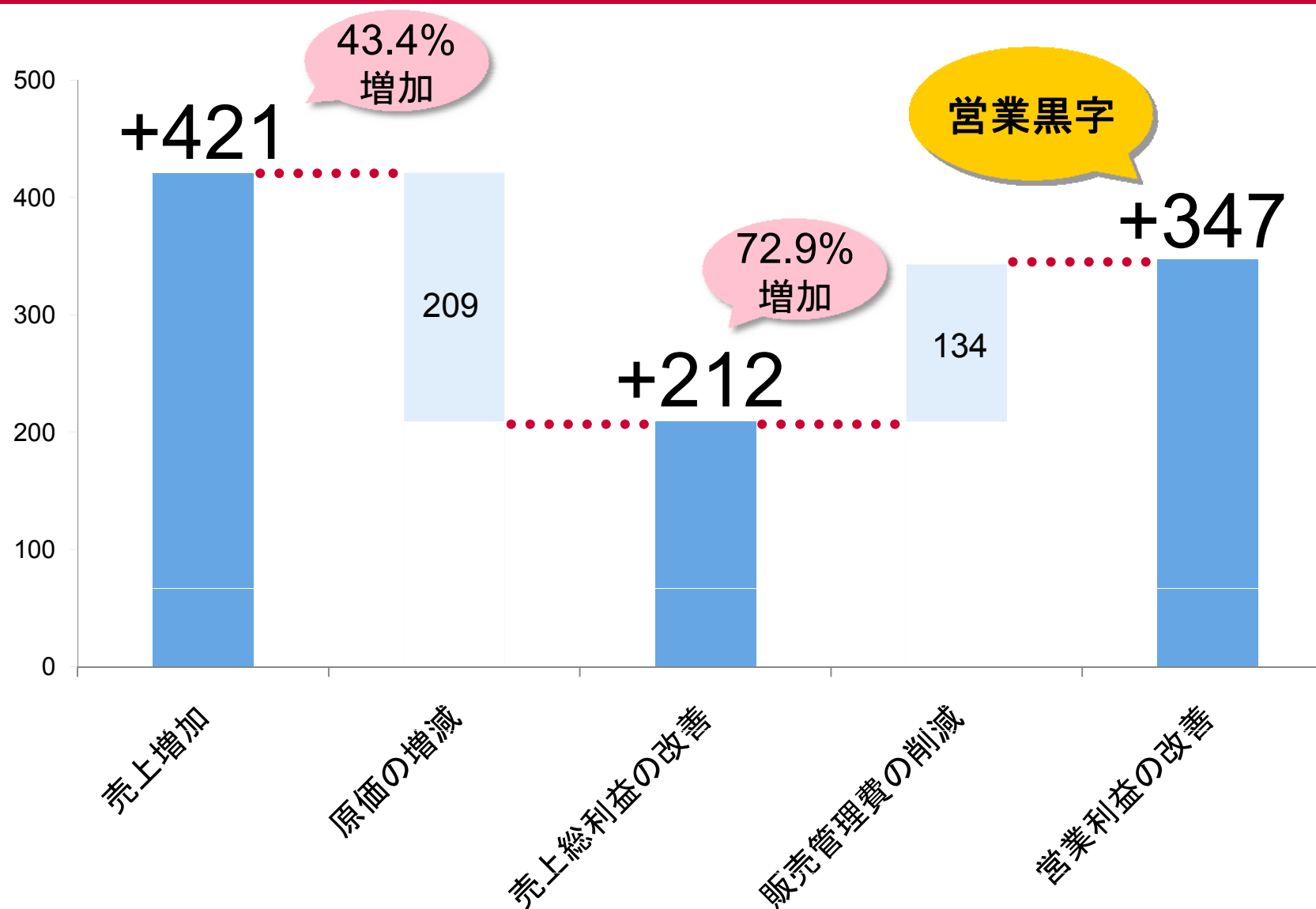
経常利益



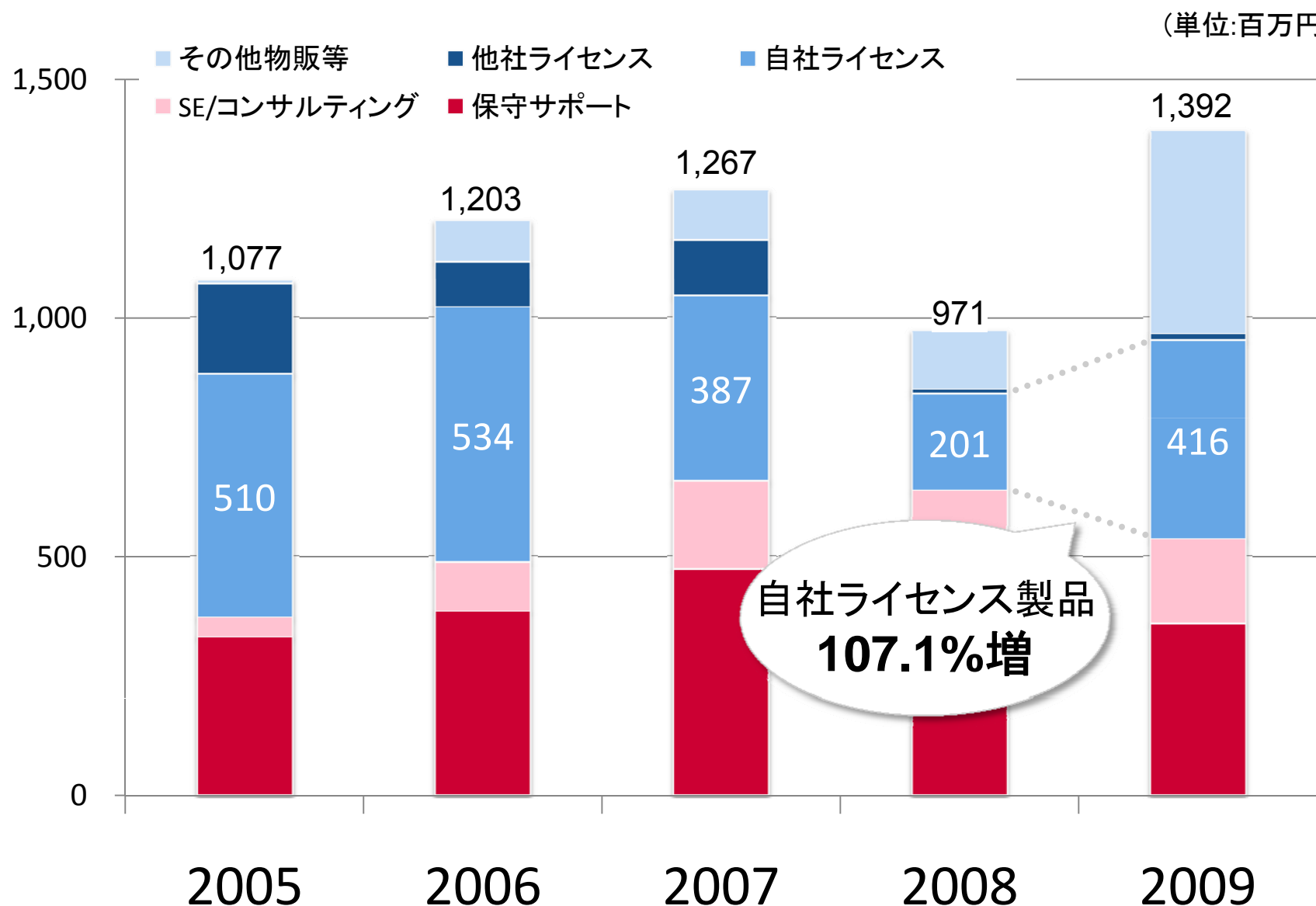
税引後当期純利益



業績改善の要因について

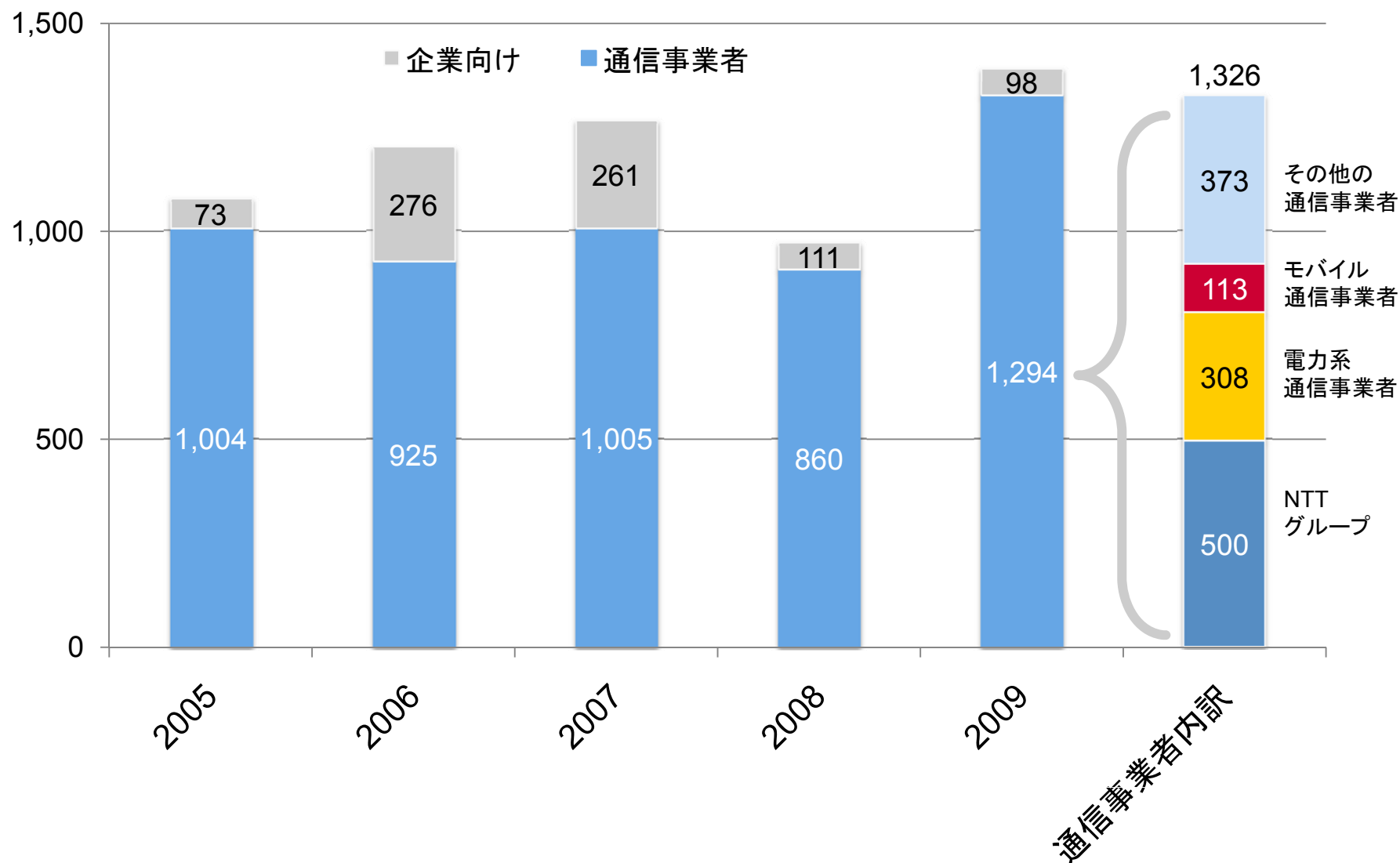


事業区分別の売上高推移



顧客区分別の売上高推移

(単位:百万円)



2009年12月期損益計算書



(単位:百万円)

	2008	2009	前年同期比	
売上高	971	1,392	+43.4%	
売上原価	680	888	+30.7%	物販等の増加
売上総利益	291	503	+72.9%	
販売費及び一般管理費	622	487	△21.7%	全社的コスト削減が奏功
営業利益	△330	16	+347百万円	営業黒字化を達成
営業外収益	4	0	△4百万円	
営業外費用	6	2	△3百万円	
経常利益	△332	13	+346百万円	
特別利益	0	0	---	
特別損失	34	0	---	
税引前当期利益	△366	13	+380百万円	
法人税等調整額	△2	13	+16百万円	税効果会計の適用による
税引後当期純利益	△369	27	+396百万円	

2009年12月期 貸借対照表

(単位:百万円)

	2008	2009	前年同期比	
資産の部				
流動資産	546	745	+36.5%	期末の売掛金の一時的な増加
有形固定資産	86	69	△19.4%	
無形固定資産	330	390	+18.0%	
投資その他の資産	30	80	+161.7%	投資有価証券の増加(+50)
資産 合計	993	1,285	+29.4%	
負債及び純資産の部				
買掛金	61	286	+365.9%	期末の一時的な増加
短期借入金	100	130	+30.0%	
未払金	43	49	+13.6%	
前受金	31	19	△38.9%	
その他負債	29	42	+43.6%	
負債 合計	265	527	+98.3%	
株主資本 合計	727	758	+4.2%	繰越利益剰余金 △23 → +3
負債及び純資産 合計	993	1,285	+29.4%	292百万円の増加

2009年12月期 キャッシュフロー計算書



(単位:百万円)

	2008	2009	前年同期比	
営業活動によるC/F	△15	162	+178百万円	
税引前当期純利益	△366	13	+380百万円	黒字化達成
減価償却費	180	188	+4.6%	
売上債権の増減額	55	△276	△331百万円	期末の一時的な増加
仕入債務の増減額	52	224	+332.0%	同上
その他	63	11	△81.8%	
投資活動によるC/F	△136	△264	△127百万円	
無形固定資産の取得による支出	△161	△191	△29百万円	
投資有価証券の取得による支出	—	△50	△50百万円	
その他	25	△22	△48百万円	
財務活動によるC/F	103	33	△68.2%	
短期借入金の純増減額	100	30	△70.0%	
株式の発行による収入	3	3	△5.1%	
その他	—	0	△0百万円	
現金及び現金同等物の増減額	△48	△70	△44.1%	
現金及び現金同等物の期末残高	204	133	△34.5%	

2010年度 通期業績予想

企業名	2009年度 第3四半期決算の概況
NTTグループ	NTTドコモの不振により減収減益だが、地域通信は増益を確保。ひかり電話をはじめとするブロードバンドアクセスサービスは契約数、ARPUとも増加傾向が続く。通期の業績予想は据え置き。
KDDI	固定・移動通信ともに減収・減益。移動体通信におけるMNP純増数が回復、固定系アクセスも純増数を伸ばす。通期見通しは当期純利益を減額するも、営業収益、営業利益、経常利益は期初見通しから変更なし。
ソフトバンクグループ	データ通信収入の増加により、営業利益が過去最高額となる。業績見通しは前期比17%増の4200億円で据え置き。また、2010年度における設備投資は3,000億円規模へ拡大することを表明。
ケイ・オプティコム	FTTH顧客の増加により、増収増益。関電グループ内情報通信通事業全体での通期業績予想(売上1,230億円、経常利益150億円)に変更なし。
フュージョン・コミュニケーションズ	売上は低下傾向だが、IP中継電話事業は、前年同月比で約+75%の獲得と好調。楽天グループ全体では3Qとしては過去最高の売上高・営業利益・経常利益を更新。

出所:各社の開示資料をもとに、当社作成

全体方針

インフラ・プラットフォーム志向からソリューション・サービス志向への脱却を
市場 × 製品の2軸から達成する

市場戦略

自社の強みを発揮できる市場に集中しつつ、
効率的、かつ確実な販路拡大を目指す

通信事業者向け

- ▶ 重点アカウントの設定と関係性深化
- ▶ 法人営業チャネルを活用

一般企業向け

- ▶ パートナー会社とサービス事業展開

海外市場向け

- ▶ APAC地域でグループシナジー活用

放送市場向け

- ▶ 通信事業者側からアプローチ

製品戦略

自社の技術とソフトウェア資産を活用して、
一歩先んじる製品を投入し、先行者利益を得る

「繋ぐ」ソリューション

- ▶ 相互接続を解決

「使う」ソリューション

- ▶ サービス機能を提供

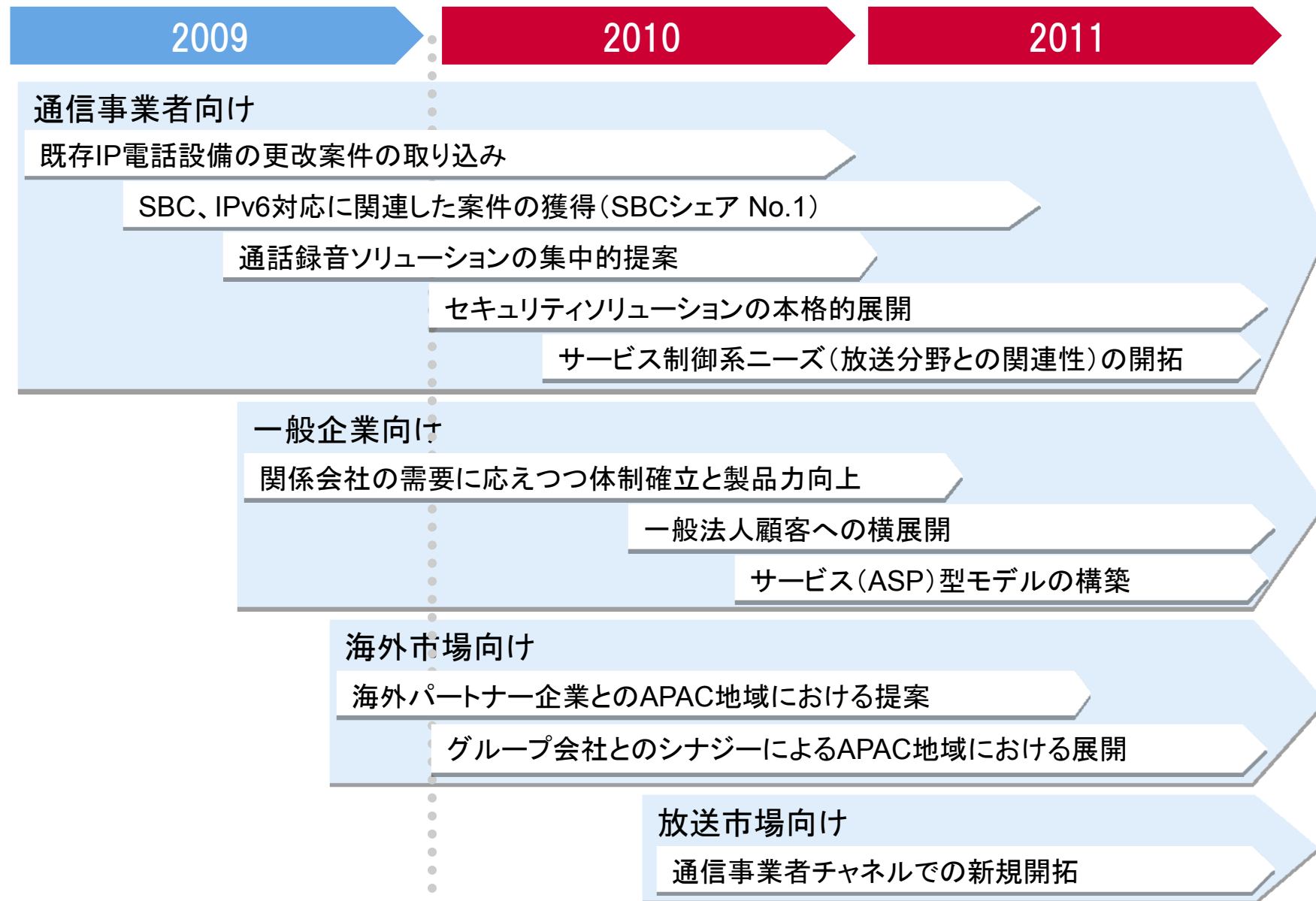
「守る」ソリューション

- ▶ 安心安全を提供

「操る」ソリューション

- ▶ サービスの制御を実現

中期事業計画における市場攻略のポイント



M2Mとは

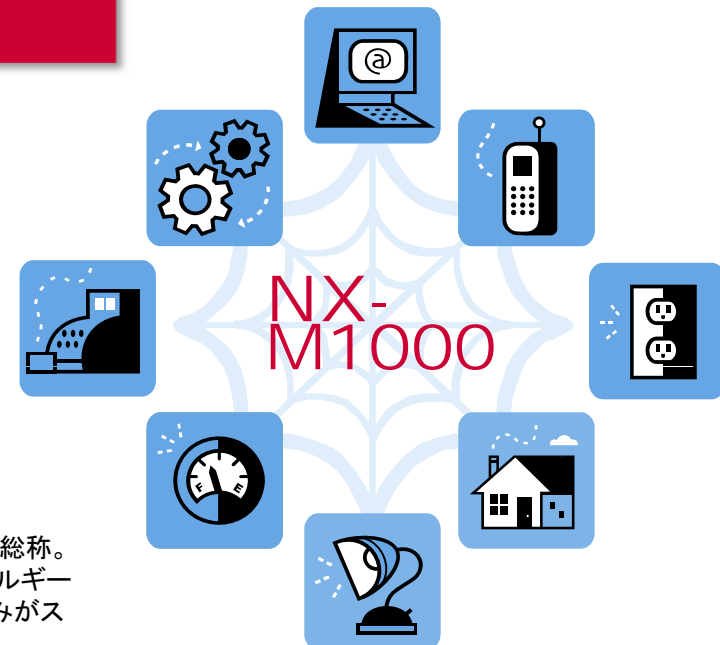
- ❑ M2M(Machine to Machine)とは、「機械」と「機械」がIPネットワークを介して相互にコミュニケーションを行う通信形態を指す
- ❑ 家電製品の遠隔制御、デジタル・サイネージ、コピー機や自動販売機といった業務用機器の遠隔管理など、広汎なニーズがありえる
- ❑ 最近では、スマート・グリッド(*)のような環境IT分野での活用が期待されている
- ❑ MVNOのような事業モデルとの組み合わせも可能性がある

M2M接続システム NX-M1000

- ❑ プロトコルにSIPを採用することにより、通信の双方向性やリアルタイム性、テキスト、画像などマルチメディアデータの送受信を実現
- ❑ 一部顧客へ既に納入済み。
今期から顧客と共に商用サービスの開始、拡大を目指す

(*) スマートグリッド

電力網とIT技術を組み合わせることで、現在の電力網をインテリジェント化しようという取り組みの総称。電力会社の送電インフラの効率化や、センサーネットワークを利用したオフィス・家庭内の省エネルギー化、太陽光発電などで生み出された電力を有効活用するための仕組みなど、多岐に渡る取り組みがスマートグリッドと呼ばれている。



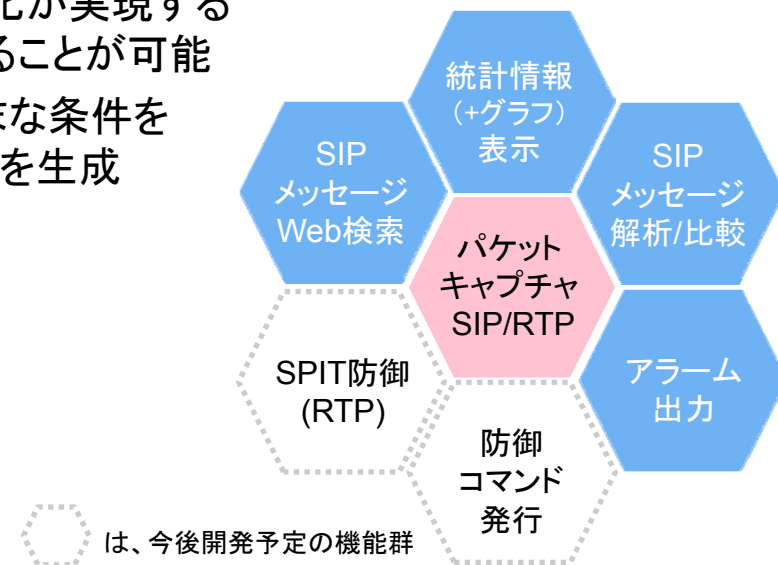
- ❑ IP電話の普及に伴い不正な通信(特に海外からのアタック)が顕在化
- ❑ 2009年12月 セキュリティ事業分野における新製品「NX-C6000」を販売開始
すでに通信事業者 数社において導入が決定

SIP対応ネットワークフォレンジックシステム(*) NX-C6000

- ❑ 一般的なSIP ネットワーク向け運用監視システムが備えるSIP パケットの収集・保管と検索、グラフ作成機能に加え、通信事業者のネットワーク不正利用防止につながる運用監視機能を大幅に強化
- ❑ SIP ネットワークの運用監視業務の効率化・省力化が実現するだけでなく、障害につながる予兆を事前に察知することが可能
- ❑ IP アドレス帯やVLAN ID、発着番号など、さまざまな条件を組合せて、GUI でオンデマンドのトラフィックグラフを生成

(*)ネットワークフォレンジック

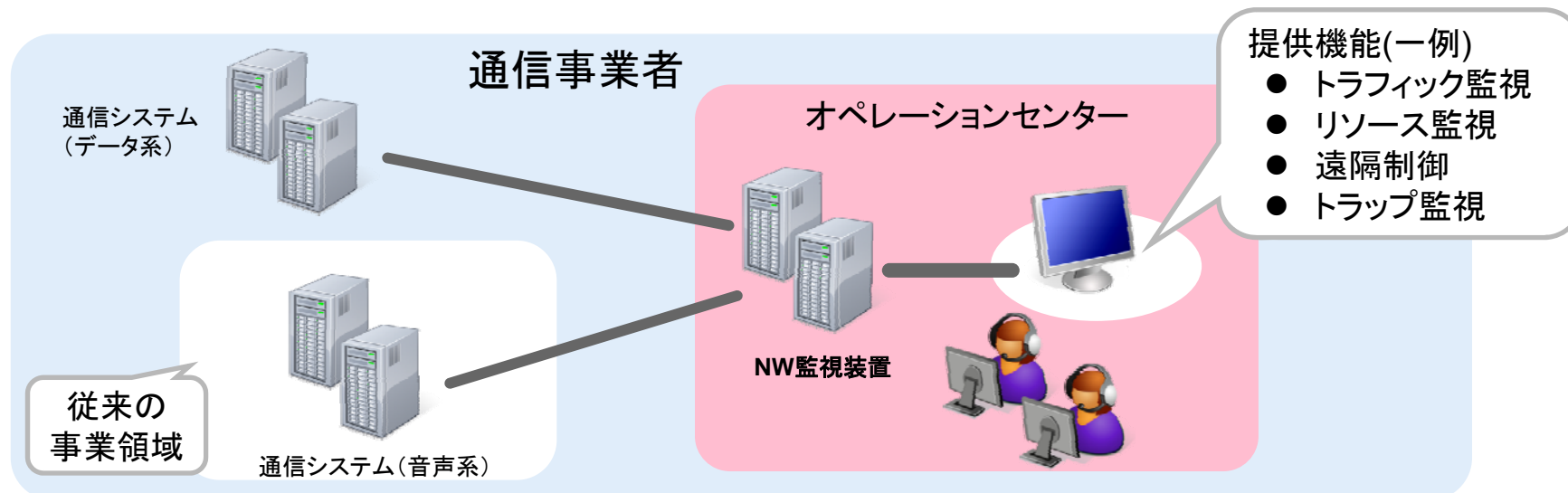
ネットワークの通信記録を収集し保管することで、ネットワークの不正利用などの問題発生時に、不正の状況を再現し、原因の解析を行う活動のこと。セキュリティ問題の防止や抑制につながる対策として、注目されています。



新しい取組み(3) OSS事業推進室の設置

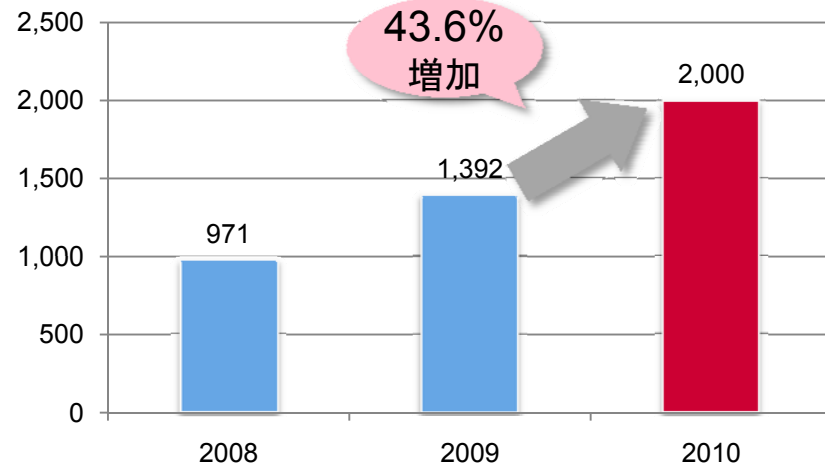
- ❑ 通信事業者向けネットワーク監視システムを開発・提供する事業を拡大・推進するためにOSS事業推進室を設置 (2010年1月)
- ❑ 技術革新により、通信制御システム(音声系)、通信制御システム(データ系)、ネットワーク監視システムの開発技術やプラットフォームが共通化
- ❑ 通信事業者はサービスの差別化と運用コストの削減のため、音声(固定・携帯)、データの違いなく統合的にネットワーク機器やサービスの監視運用を要望
- ❑ 当社が持つ通信事業者システムに関する経験とノウハウ、および顧客接点を活用

ネットワーク監視 システム導入イメージ

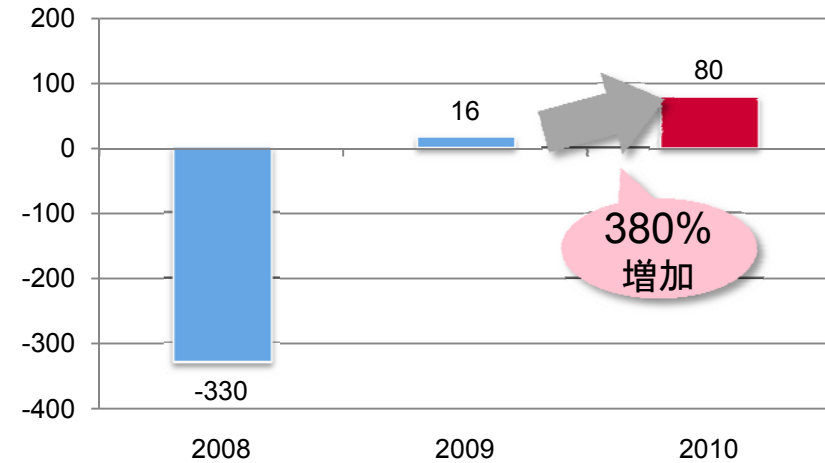


2010年12月期 通期業績予想

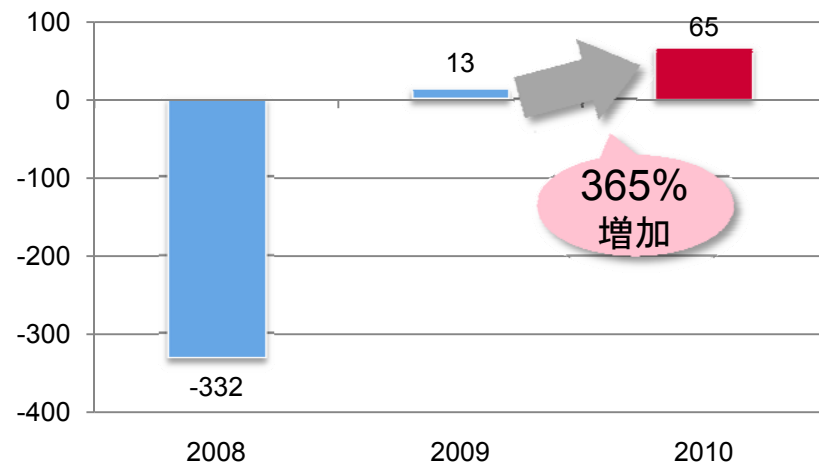
売上高



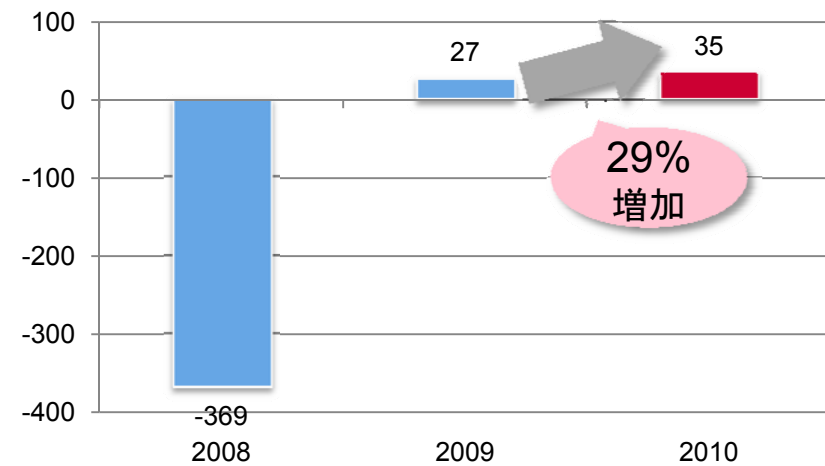
営業利益



経常利益



当期純利益



会社概要



設立	2001年11月
資本金	402,068,000円
社員数	67名 (2009年12月末時点)
売上	約13億9千万円 (2009年12月期)
上場区分	大証ヘラクレス (証券コード:3842)
本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目3番地4
経営陣	代表取締役社長 執行役員 大西新二 取締役副社長 執行役員 柏木宏之 取締役 牧野孔治 取締役 伊藤正喜 取締役 岩永浩幸 監査役 飛田和男 監査役 三浦靖治 監査役 出澤秀二
取引銀行	みずほ銀行 神谷町支店、三菱東京UFJ銀行 青山支店

【免責事項】

本資料に記載された計画、見通し、戦略等の将来に関する記述は、現在入手している情報に基づく当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。実際の業績は、経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社以外の企業などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。



生活をささえる通信サービスの分野において
技術が生みだすあらたな価値をつうじて
ひとびとに安心とよろこび、そして豊かさを提供する

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-4
TEL: 03-3234-6855(代) / FAX: 03-3234-6857
<http://www.nextgen.co.jp>